

遊んで、ころんで、すくすく。
畳で寝る子は育つ？

二間つづきの和室…。ユーティリティスペースとしての畳…。



二間つづきの和室は、普段は襖を全部あけて、一つの大きな部屋として使えます。だから子供の遊び場はとても広いのです。お昼時はおもちゃをしまえば同じ部屋がたちまち茶の間に。布団を敷けば家族がそろって自由に寝られます。襖を開け閉めするだけで、オープンな遊び場が、茶の間に、適度な個室感覚のある寝室に早変わります。狭い日本の住まいでは日常生活の全てのシーンが機能的に展開できる畳の部屋は、本来とても便利な機能を備えているのです。

防音面でもフローリングより畳の方が下の階に音が伝わりにくいのでマンションでの子育てにお奨めです。子供を見ていると本当によく寝転ぶし、畳に顔がつくぐらい床に近い場所で遊んでいることがわかりますが、畳の部屋は埃も気にならないし、清潔感があるので安心です。車や汽車に夢中になると畳の縁を道路に見立てて走らせるなど創造力を働かせることでしょう。

(株)リビング・デザインセンター OZONE情報バンク 所長 浅倉 与志雄

なぜ畳が子育てに良いのだろうか。それは、「素材感」「安全さ」「コミュニケーションしやすさ」「和の感性」があるから。畳表のい草の感触と香りは、心の安らぎを感じる。日本人のDNAに畳の素材感が刷り込まれているのだろう。安全性においては、畳の持つ適度なやわらかさにより、転倒時などに怪我をしにくい。コミュニケーションのしやすさも大切な価値である。是非とも自然素材でやさしい畳の上で生活し、日本人として和のある暮らしの感性を育てていただきたい。

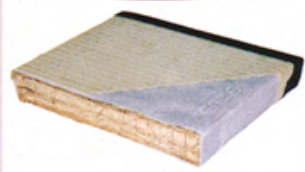


畳にダニがわかって本当？
 アトピーには畳は向かないの？
 換気と掃除を適度にすればダニの心配はありません。

住まいの中でダニやカビが大量発生するのは、温度、湿度、餌、産卵場所等の条件が整った時であり、これらの条件を抑えれば大量発生しません。畳屋さんでは畳床を通気性のある不織布等で包み込んだり、畳乾燥機を導入している店なら畳干しの代わりに加熱乾燥でダニを殺して畳をリフレッシュするといったサービスもあります。

ダニを避けるために、畳を使わず全部フローリングにしたいという方がおられます。しかしダニがアトピーの根本的な問題ではありません。ダニが多く発生してしまう住宅構造や住まい方が問題であり、現に和室が減少しフローリングが増加した今日の方がアトピー性疾患が年々増加しています。

ダニシラズシート



ダニ問題はこれで安心!

農薬等の揮発性化学物質を使わず、人体に安全な無機系薬剤ホウ酸を使用。畳表と畳床の間に挟むタイプの防虫剤で、薬剤による防虫効果と不織布による物理的效果でWストッパー構造。ダニ保険付。

忙しいお母さんも大丈夫。
 メンテナンスのし易い畳…。

核家族化がすすむ現代では子育てはとても大変な仕事、忙しいお母さんはいくら時間があっても足りません。「畳だと子供が色々と溢したり汚したりメンテナンスが大変」そんな時には畳表に樹脂製や和紙製の畳もあります。い草の香りや空気を浄化する機能はありませんが、畳の感触や遮音性、クッション性はそのままに、耐久性や撥水性がありますので、万一の粗相もサッとひと拭き。カビやダニも発生しにくいので安心です。最近の住宅は大きなリビングが主流。そんなお住まいには必要な時に畳スペースを利用できる「置き畳」はいかがでしょう。「縁無畳」は洋風にも違和感なくモダン和風を演出。

